

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-243579

(P2001-243579A)

(43) 公開日 平成13年9月7日 (2001.9.7)

(51) Int.Cl.⁷

識別記号

F I

ターミナル* (参考)

G 0 8 B 25/10

G 0 8 B 25/10

B 5 B 0 4 9

G 0 6 F 17/30

1 7 0

G 0 6 F 17/30

1 7 0 Z

5 B 0 7 5

17/60

1 5 4

17/60

1 5 4

5 C 0 8 7

G 0 8 B 25/00

5 1 0

G 0 8 B 25/00

5 1 0 C

5 H 1 8 0

G 0 8 G 1/13

G 0 8 G 1/13

審査請求 未請求 請求項の数10 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号

特願2000-49226(P2000-49226)

(22) 出願日

平成12年2月25日 (2000.2.25)

(71) 出願人 000006013

三菱電機株式会社

東京都千代田区丸の内二丁目2番3号

(72) 発明者 井尻 守

東京都千代田区丸の内二丁目2番3号 三

菱電機株式会社内

(74) 代理人 100102439

弁理士 宮田 金雄 (外1名)

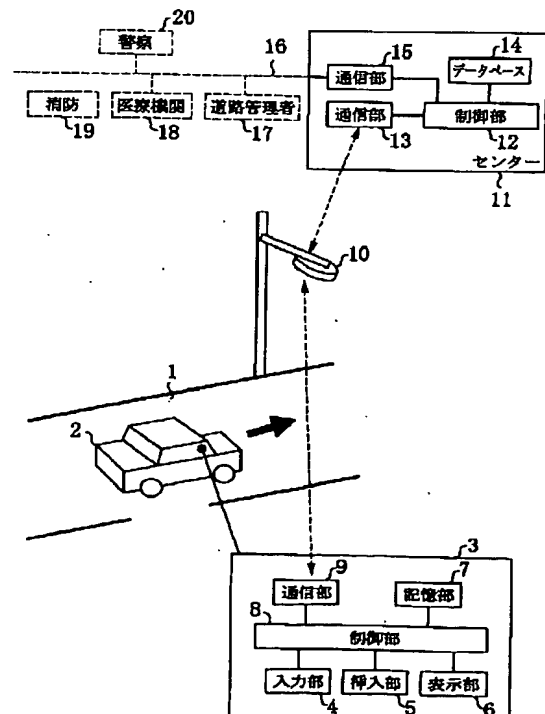
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 車両用搭乗者情報登録・検索システム及び車両用搭乗者情報登録・検索方法

(57) 【要約】

【課題】 事故発生等の緊急時に、医療機関、消防、警察、道路管理者等の関係機関が利用できる車両用搭乗者情報登録・検索システム及び車両用搭乗者情報登録・検索方法を得る。

【解決手段】 車両への搭乗時又は搭乗中に搭乗者の個人識別情報を登録する車載機と、緊急時の関係機関とネットワークを介して接続されたデータベースを有する監視センターとを備える。監視センターは、緊急時に必要な個人情報を予め登録してデータベース化するとともに、車載機から送信された車両識別情報や搭乗者個人識別情報をデータベースに登録しておき、緊急時に関係機関からの照会によりデータベースの登録内容を検索し、検索結果を搭乗者の個人情報として出力する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 車両に設置され、車両識別情報が予め登録されているとともに車両への搭乗時又は搭乗中に搭乗者の個人識別情報を登録する車載機と、道路上に設置され、車載機と通信可能な中継機と、この中継機を介して上記車載機と通信可能であり、かつ緊急時の関係機関とネットワークを介して接続されたデータベースを有する監視センターとを備え、上記監視センターは、緊急時に必要な個人情報を予め登録してデータベース化するとともに、上記車載機から送信された車両識別情報や搭乗者個人識別情報をデータベースに登録しておき、緊急時に関係機関からの照会によりデータベースの登録内容を検索し、検索結果を搭乗者の個人情報として出力することを特徴とする車両用搭乗者情報登録・検索システム。

【請求項 2】 緊急時の関係機関とネットワークを介して接続された監視センターのデータベースに、緊急時に必要な個人情報を予め登録してデータベース化しておく一方、車両に設置された車載機から送信された車両識別情報や搭乗者個人識別情報を監視センターのデータベースに登録しておき、緊急時に関係機関から照会があった時、監視センターのデータベースの登録内容を検索し、検索結果を搭乗者の個人情報として出力することを特徴とする車両用搭乗者情報登録・検索システム。

【請求項 3】 検索結果を関係機関に返信することを特徴とする請求項 1 または請求項 2 記載の車両用搭乗者情報登録・検索システム。

【請求項 4】 個人情報として、搭乗者の事故や病気の際の救急医療情報が登録されていることを特徴とする請求項 1～請求項 3 のいずれかに記載の車両用搭乗者情報登録・検索システム。

【請求項 5】 個人情報として、搭乗者の緊急連絡先が登録されていることを特徴とする請求項 1～請求項 3 のいずれかに記載の車両用搭乗者情報登録・検索システム。

【請求項 6】 個人情報として、搭乗者のドナーカード登録内容が登録されていることを特徴とする請求項 1～請求項 3 のいずれかに記載の車両用搭乗者情報登録・検索システム。

【請求項 7】 緊急時に搭乗者の個人情報を検索する際、車両ナンバープレート情報を検索キーとすることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 記載の車両用搭乗者情報登録・検索システム。

【請求項 8】 必要時に個人識別用カードまたは個人識別用コードを用いることにより、車両に搭乗しなくても、監視センターのデータベースに登録されている個人情報を利用できることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 記載の個人情報登録・検索システム。

【請求項 9】 車両識別情報を車載機に予め登録するステップと、緊急時の個人情報を監視センターのデータベースに予め登録するステップと、搭乗者の個人識別情報

を車載機に登録するステップと、上記車両識別情報と搭乗者の個人識別情報を車載機と中継機が通信可能な時に監視センターに送信しデータベースに登録するステップと、緊急時に関係機関より監視センターのデータベースにアクセスし、照会・検索するステップと、検索結果を搭乗者の個人情報として出力するステップとを備えたことを特徴とする車両用搭乗者情報登録・検索方法。

【請求項 10】 緊急時の関係機関とネットワークを介して接続された監視センターのデータベースに、緊急時に必要な個人情報を予め登録してデータベース化しておくステップと、車載機から送信された車両識別情報や搭乗者個人識別情報を監視センターのデータベースに登録するステップと、緊急時に関係機関からの照会により、監視センターのデータベースの登録内容を検索し、検索結果を関係機関へ返信するステップとを備えたことを特徴とする車両用搭乗者情報登録・検索方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 この発明は、自動車等の車両に搭乗する搭乗者の緊急時用の個人情報を監視センターのデータベースに予め登録しておき、事故発生等の緊急時に、医療機関、消防、警察、道路管理者等の関係機関が利用できるようにした車両用搭乗者情報登録・検索システム及び車両用搭乗者情報登録・検索方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、車両の事故発生時に誰が搭乗しているかは、口頭による質問や搭乗者の所持品等で行っていた。

【0003】 また、例えば特開平 8-221679 号公報に記載された車両用の自動通報システムでは、事故を自動検出し、検出後、自動車の位置情報、予め登録された搭乗者の個人情報等を予め登録されている通報先に自動通報していた。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、前述のように口頭による質問や搭乗者の所持品による調査では、事故等の緊急時の際には搭乗者の個人情報が十分に収集できていないことがあり、緊急時の対応に制約や遅れが生じたり、関係者への連絡や情報提供が遅れたりするという問題点があった。

【0005】 また、車載用の自動通報システムでは、搭乗者の個人情報の送信が事故検出後であるため、事故の影響によりシステム自体そのものが動作しなかった場合には搭乗者の個人情報が通報先に送信できないという問題点があった。

【0006】 この発明は、上述のような課題を解決するためになされたもので、緊急時に必要な個人情報を予め監視センターに登録してデータベース化しておき、また車載機から送信された車両識別情報や搭乗者個人識別情

報を監視センターのデータベースに登録し、緊急時に関係機関からの照会によりデータベースの登録内容を検索し、検索結果を搭乗者の個人情報として出力するようにした車両用搭乗者情報登録・検索システム及び車両用搭乗者情報登録・検索方法を得るものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】この発明に係る車両用搭乗者情報登録・検索システムにおいては、車両に設置され、車両識別情報が予め登録されているとともに車両への搭乗時又は搭乗中に搭乗者の個人識別情報を登録する車載機と、道路上に設置され、車載機と通信可能な中継機と、この中継機を介して車載機と通信可能であり、かつ緊急時の関係機関とネットワークを介して接続されたデータベースを有する監視センターとを備え、監視センターは、緊急時に必要な個人情報を予め登録してデータベース化するとともに、車載機から送信された車両識別情報や搭乗者個人識別情報をデータベースに登録しておき、緊急時に関係機関からの照会によりデータベースの登録内容を検索し、検索結果を搭乗者の個人情報として出力するものである。

【0008】また、緊急時の関係機関とネットワークを介して接続された監視センターのデータベースに、緊急時に必要な個人情報を予め登録してデータベース化しておく一方、車両に設置された車載機から送信された車両識別情報や搭乗者個人識別情報を監視センターのデータベースに登録しておき、緊急時に関係機関から照会があった時、監視センターのデータベースの登録内容を検索し、検索結果を搭乗者の個人情報として出力するものである。

【0009】また、検索結果を関係機関に返信するものである。

【0010】また、個人情報として、搭乗者の事故や病気の際の救急医療情報が登録されているものである。

【0011】また、個人情報として、搭乗者の緊急連絡先が登録されているものである。

【0012】また、個人情報として、搭乗者のドナーカード登録内容が登録されているものである。

【0013】また、緊急時に搭乗者の個人情報を検索する際、車両ナンバープレート情報を検索キーとするものである。

【0014】また、必要時に個人識別用カードまたは個人識別用コードを用いることにより、車両に搭乗しなくても、監視センターのデータベースに登録されている個人情報を利用できるものである。

【0015】また、この発明に係る車両用搭乗者情報登録・検索方法においては、車両識別情報を車載機に予め登録するステップと、緊急時の個人識別情報を監視センターのデータベースに予め登録するステップと、搭乗者の個人情報を車載機に登録するステップと、上記車両識別情報と搭乗者の個人識別情報を車載機と中継機が通信

可能な時に監視センターに送信しデータベースに登録するステップと、緊急時に関係機関より監視センターのデータベースにアクセスし、照会・検索するステップと、検索結果を搭乗者の個人情報として出力するステップとを備えたものである。

【0016】また、緊急時の関係機関とネットワークを介して接続された監視センターのデータベースに、緊急時に必要な個人情報を予め登録してデータベース化しておくステップと、車載機から送信された車両識別情報や搭乗者個人識別情報を監視センターのデータベースに登録するステップと、緊急時に関係機関からの照会により、監視センターのデータベースの登録内容を検索し、検索結果を関係機関へ返信するステップとを備えたものである。

【0017】

【発明の実施の形態】実施の形態1. 図1はこの発明の実施の形態1を示す車両用搭乗者情報登録・検索システムの構成図である。図1において、道路1上を走行する自動車等の車両2は車載機3を搭載している。車載機3は、搭乗者の個人識別情報である識別用コードを入力するための入力部4と、搭乗者の個人識別用カードを挿入しその情報を読み取るためのカード挿入部5と、予め記憶させておいたリストをCRTや液晶画面等に表示するための表示部6と、入力された情報等を記憶する記憶部7と、車載機3を制御する制御部8と、中継機と通信するための通信部9とを備えている。車載機3の記憶部7は、入力された情報の他に、車両ナンバープレート情報あるいはそれとは別に採番した車両識別用コードを予め登録しておく。道路1上に所定間隔で点在するように設置された中継機10は、道路1上を走行中の車両2に搭載された車載機3の通信部9と通信する。監視センター11は、中継機10を経由して車載機3の通信部9と通信する。センター11は、センター11の制御を行う制御部12と、中継機10と通信する通信部13と、中継機10を経由して車載機3から送信された車両ナンバープレート情報又は車両識別用コードと搭乗者の個人識別情報とを格納するとともに、予め登録希望者の緊急時に必要な個人情報を登録してデータベース化しておくデータベース14と、通報先等の関係機関と通信を行う通信部15とを備えている。センター11の通信部15は、ネットワーク16により、道路管理者17、医療機関18、消防19、警察20等の関係機関が通報先として接続されている。

【0018】次に、動作について図2のフローチャートに基づいて説明する。まず車載機3の記憶部7に、車両ナンバープレート情報あるいはそれとは別に採番した車両識別用コードを予め登録しておく（ステップS1）。また必要に応じて搭乗者リストを車載機3の記憶部7に予め記憶させる（ステップS2）。一方、監視センター11のデータベース14には、予め登録希望者の緊急時

に必要な個人情報を登録してデータベース化しておく（ステップS3）。

【0019】そして、車両2に搭乗者が搭乗する時または搭乗中に、車載機3の入力部4から搭乗者の個人識別用コードを入力するか（ステップS4）、あるいは車載機3のカード挿入部5に挿入された個人識別用カードから情報を読み取るか（ステップS5）、あるいは予め作成して車載機3の記憶部7に記憶させておいた搭乗者リストを表示部6に表示させ、入力部4からの入力操作により選択するか（ステップS6）、等の方法により、搭乗者の個人識別情報を車載機3に登録する（ステップS7）。

【0020】入力結果である搭乗者の個人識別情報と、車両ナンバープレート情報又は車両識別用コードは、車載機3と中継機10が通信可能な場合には即時に送信し、中継機10と位置的な事情で通信困難な場合には一時記憶部7に保管し、中継機10と通信可能になった時点で中継機10に記憶内容を送信する（ステップS9）。監視センター11は、中継機10から受信した車両ナンバープレート情報又は車両識別用コードと、搭乗者の個人識別情報をデータベース14に格納する（ステップS9）。なお、車両識別用コードを用いる場合は、監視センター11で車両識別用コードと車両ナンバープレート情報とをデータベース14で予め関連付けておく。

【0021】万一、交通事故等の緊急事態が発生した場合は、道路管理者17、医療機関18、消防19、警察20等の関係機関がネットワーク16を通じてセンター11のデータベース14にアクセスし、車両ナンバープレート情報または車両識別用コードあるいは搭乗者の個人識別情報をキー情報として照会・検索を行う（ステップS10）。監視センター11ではその検索結果を出力して照会元に返信する（ステップS11）。

【0022】例えば、車両ナンバープレート情報が破損等により読めない場合、あるいは車両搭乗中に事故に遭ったケースでなくても本システムを応用したい場合には、関係機関は個人識別用コードまたは個人識別用カードによる照会や、データベース14の登録項目を用いて絞り込み検索を行うことも可能である。

【0023】監視センター11は、予め登録希望者の個人情報をデータベース14に登録し、データベース化しておくことになるが、登録する情報としては、まず個人識別情報として、氏名、身長、体重、性別、生年月日等を登録し、また救急医療情報として、血液型、現在治療中の病気、緊急時の医療方法及び主治医、病歴及び治療医、緊急治療上の注意事項、保険証番号等を登録し、また緊急連絡情報として、連絡先名称、連絡先住所、連絡先電話番号、保険会社名、保険会社電話番号、保険番号等を登録し、またドナーカード情報として、公知のドナーカード記載内容等を登録し、各種個人情報として蓄積

しておく。

【0024】なお、情報の有効利用のためには、車両ナンバープレート情報または車両識別用コード以外の蓄積情報、例えば個人識別用コードまたは個人識別用カードでも検索や絞り込み検索を可能にしておけば好ましい結果が得られることは言うまでもない。さらに、監視センター11は、予め通報先である関係機関とインターネットや専用ネットワークで通信網を構築しておくといよい。

【0025】実施の形態2。なお、上記実施の形態1では、搭乗者登録を入力部4からのコード入力操作やカード挿入部5への個人識別用カードの挿入操作により行っているが、搭乗者の身体的特徴を検出して搭乗者リストを作成するようにしても良い。例えば、指紋照合装置を用いて搭乗者の指紋を読み取って個人識別を行わせるような方法等が考えられる。

【0026】

【発明の効果】この発明は、以上説明したように構成されているので、以下に示すような効果を奏する。

【0027】事故発生等の緊急時に、関係機関が監視センターに蓄積したデータベースから車両ナンバープレート情報等の車両識別情報を用いて、必要な個人情報や搭乗者リスト等を入手することができる。

【0028】また、搭乗者個人の救急医療に必要な詳細データを消防や医療機関等の関係機関が迅速に入手することができる。

【0029】また、搭乗者が緊急連絡先を知らせることができなくても、関係機関で緊急連絡先を迅速に入手して知らせることができる。

【0030】また、搭乗者のドナーカード登録内容を関係機関が迅速に入手して対応することができる。

【0031】また、車両ナンバープレート情報または車両識別コードを検索キーとして、緊急時の車両搭乗者を特定することができる。

【0032】また、車両ナンバープレート情報または車両識別コード以外にも、個人を特定する個人識別用カードや個人識別用コードを用いて、データベースのデータを有効利用することができる。

【図面の簡単な説明】

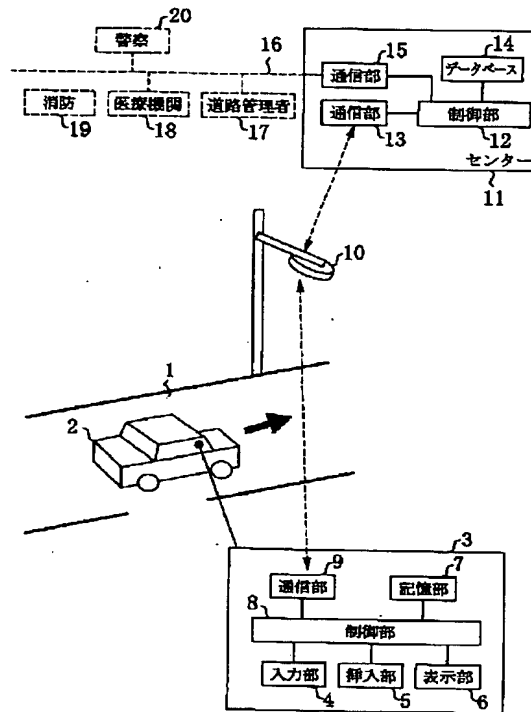
【図1】 この発明の実施の形態1を示す車両用搭乗者情報登録・検索システムの構成図である。

【図2】 この発明の実施の形態1を説明するためのフローチャートである。

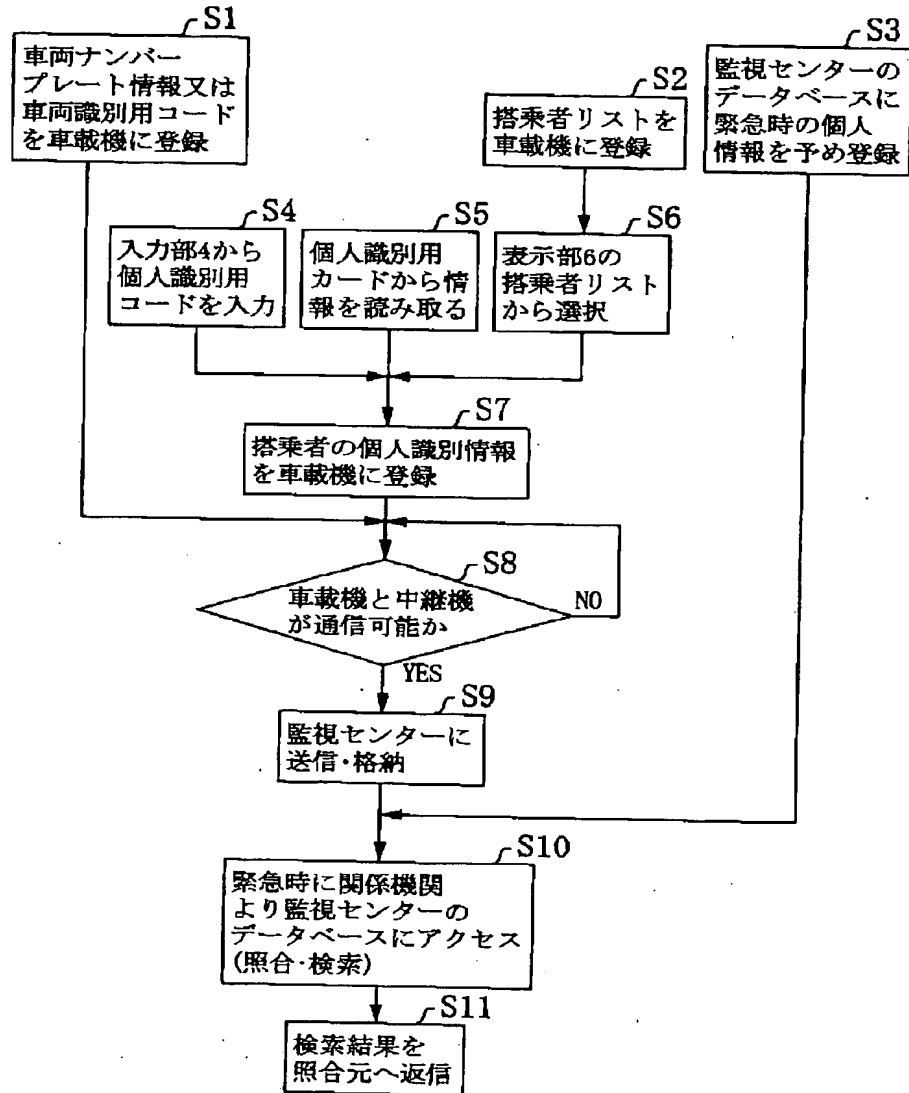
【符号の説明】

1 道路、2 車両、3 車載機、4 入力部、5 カード挿入部、6 表示部、7 記憶部、8 制御部、9 通信部、10 中継機、11 センター、12 制御部、13 通信部、14 データベース、15 通信部、16 ネットワーク、17 道路管理者、18 医療機関、19 消防、20 警察。

【図1】



【図2】



フロントページの続き

Fターム(参考) 5B049 AA06 EE05 GG03
 5B075 ND20 NK02 NK12 PQ05
 5C087 AA10 AA24 AA25 BB18 BB74
 BB76 DD03 DD14 EE16 EE18
 FF01 FF03 FF16 GG10 GG18
 GG22 GG23 GG70 GG83
 5H180 AA01 BB04 EE07 EE08 EE15
 FF13